



氏名 小野 竜大
 学校名 幕別町立札内北小学校
 学年 第5学年(22人)
 実施教科(領域) 総合的な学習の時間

関連するSDGs



【実施概要】

1. 単元名(活動名):

モンゴルの暮らし ーその背景を探る旅ー

2. 単元の目標(評価規準を意識して設定):

日本とモンゴルやキルギスの文化・生活について、写真やカードゲーム、体験活動から得た情報をもとに整理できる。「なぜ違うのか」「どんな背景があるのか」を推測し、調べてまとめ、国際理解を学ぶうえでの見方を広げる。

| | | |
|--------------------------------------|---|--|
| 3. 単元の 評価規準 | ①知識及び技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・モンゴルの文化(衣食住、飲み物、学期、しきたり)について知識をもち、日本との違いや共通点を整理できる。 ・モンゴルとキルギスという地理的に近い国の生活・風土・文化の特徴を理解し、それぞれの衣食住や伝統・自然環境との関わりを具体的に説明することができる。 |
| | ②思考力、判断力、表現力 | <ul style="list-style-type: none"> ・得られた情報を比較し、自分なりの考えをまとめることができる。 ・「なぜ違うのか」「どんな背景があるのか」を推測している。 |
| | ③主体的に学習に取り組む態度 | <ul style="list-style-type: none"> ・実物や体験活動に意欲的に参加し、自ら気づいたことを表現したり仲間と共有しようとしている。 ・他者の意見や体験を受け入れ、学びを広げようとする。 |
| 4. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観) | <p>【単元設定の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5年生の段階では、社会科や外国語活動などを通して他国の文化や暮らしに触れる機会が増えてくる。一方で、インターネットやテレビを通じて偏った情報や差別的な言動に接することもあり、他国への理解を一面的にとらえてしまう危険性もある。そこで本単元では、教師自身が現地で見え感じたモンゴルとキルギスの文化を題材とし、児童が実際に体験しながら学ぶ活動を通して、「似ていると思う文化の中にも違いがあり、その違いにこそ多様性を理解する手がかりがある」ことに気づけるようにしたい。短期間の取材や主観的な経験であっても、「自分の目で見て、感じ、考える」ことの大切さを児童に伝えることで、国際理解や国際親善に努めようとする態度の育成をめざす。 <p>【単元の意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国の文化に直接触れる機会が少ない児童にとって、衣食住や音楽などの実物に触れたり、身につけたりする体験を通して異文化に触れることは、「ちがいを楽しみ、学びに変える」貴重な機会となる。特に、モンゴルとキルギスのように地理的に近く、遊牧文化という共通点をもつ国同士を比べることは、「一見似ているものの中にある違い」に気づく絶好の題材である。教師が自作したモンゴル文化のカードゲームや本校の2023年度 JICA 教師海外研修参加者(キルギス)の経験を活用し、児童が楽しみながら学びを進める中で、表面的な比較にとどまらず、違いの背景にある自然・気候・歴史への理解を深め、文化の多様性を尊重する力を育むことをねらいとする。 <p>【児童/生徒観】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の5年生は、これまでの学習を通して世界の国々に関心をもち、自分の興味のある国を調べて発表した経験をもっている。一方で、国際理解への関心には個人差があり、海外への興味が薄い児童も見られる。そのため、カードゲームなどのアクティビ | |

| | |
|--|---|
| | <p>ティを取り入れ、楽しさを入り口として、文化や歴史に自然に関心に向けられるようにすることを重視した。また、第 4 時の体験活動では、モンゴルとキルギスという似た文化をもつ 2 国を比較することで、「同じように見えても違う」「違いがあるから面白い」という気づきを得やすくし、全員が主体的に参加できる学習構成とした。</p> <p>【指導観】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本単元では、1 学期の総合的な学習での調べ学習を土台とし、児童が自らの学びを広げられるように構成した。モンゴルについては、児童が親しみやすいトランプゲーム「大富豪」をベースにしたオリジナルカードゲームを用い、遊びながら文化や歴史、現状を学べるようにした。第 4 時ではさらに、モンゴルのゲルとキルギスのユルタを再現した空間で体験的に比較し、似ているからこそ際立つ違いに気づく活動を設定した。指導者としては、楽しい体験に終わらせるのではなく、児童が「なぜ違うのか」「その背景に何があるのか」と問いをもてるよう働きかけ、違いを通して多様性を理解しようとする態度へのきっかけとなることを目指したい。 |
|--|---|

| 5. 単元計画 (全 5 時間) | | | |
|------------------|--|--|---|
| 時 | ねらい | 学習活動 | 資料など |
| 1 | モンゴルの歴史や文化に触れて他国の文化を大切にする心を育むとともに、カードゲームを通してその文化や生活への理解を深める。 | スライドを通してモンゴルの歴史や文化、現状を学ぶ。モンゴルの文化や食、風景を題材にしたカードゲームで遊びながら知識を深め、最後に気づきや疑問を共有して、次の学びへの意欲を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> 現地での写真 現地で買った服、帽子、楽器、ゲルなど 自作のカードゲーム ロイロノート |
| 2 | 日本とモンゴルの生活を比べ、文化のちがいや共通点を見つける。 | 住まい・食事・学校生活などに関する資料や写真を見比べ、日本とモンゴルのちがいや共通点を探す。個人で整理した後、グループで意見交換を行い、両国の文化の特徴を全体で共有する。 | <ul style="list-style-type: none"> 自作のカードゲーム ワークシート ロイロノート |
| 3 | キルギスの歴史や文化に触れて他国の文化を大切にする心を育むとともに、カードゲームを通してその文化や生活への理解を深める。 | スライドを通してキルギスの歴史や文化、現状を学ぶ。キルギスの文化や食、風景を題材にしたカードゲームで遊びながら知識を深め、最後に気づきや疑問を共有して、次の学びへの意欲を高める。 | <ul style="list-style-type: none"> 現地での写真 現地で買った服、帽子、楽器、ゲルなど 自作のカードゲーム ロイロノート SATSUKITA パスポート |
| 4 (本時) | モンゴルとキルギスの文化を体験し、一見似ている国同士を比べることで、違いに気づき、その違いが生まれる理由や背景を考える力を育む。似ているところや違うところに気づくことができる。 | 「モンゴルブース」「キルギスブース」で衣食住や音楽などを疑似体験し、感じたことを記録する。その後、グループで交流し、食事・住まい・服装などのちがいや共通点を整理する。代表者が発表し、全体でまとめることで、似ている文化でも違いがあることに気づく。 | <ul style="list-style-type: none"> 現地で買った服、帽子、楽器、ゲル、飲み物など 地球の歩き方風メモ SATSUKITA パスポート プロジェクター スライド |
| 5 | 似ているけれども違う理由を考え、モンゴルの文化の背景を調べてまとめ、国際理解をするうえでの見方を広げる。 (総合的な学習の時間) | モンゴルやキルギスの自然環境・歴史・生活の工夫と文化の関係を考える。前時で疑問に思ったことを予想し、調べてまとめることで、多様な文化の背景を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> スライド 現地での写真 |

| 6. 本時の展開 (4 / 5) | | | |
|--|--|--|---|
| 本時のねらい： モンゴルとキルギスの文化を体験し、似ているけれども違うところに気づき、なぜ違うのかを予想し、モンゴルの人大切にしていることを見つけることができる。 | | | |
| 過程・時間 | 教師の働きかけ・発問および学習活動 | 指導上の留意点 (支援) | 資料 (教材) |
| 導入 (3分) | <p>○前時の振り返り 「モンゴルとキルギスは地理的に近く、同じ遊牧文化を持つ国で、移動式住居で馬と羊と暮らす人たちです。」 「今日は理科室でモンゴルのゲル、家庭科室でキルギスのユルタでみんなをおもてなしする体験ツアーを準備しました！」 「今までの学習で知った、2つの国の似ているモノや事柄について、今日はさらに情報を追加します。例えばモノにはそれが使われている理由があるはずです。ゲルはなぜ移動する家なのですか？遊牧民だからですよ？そういった情報を地球の歩き方風メモに記録してください。」 「2つの国から帰国したみなさんは、お互いの情報を伝え合います。」</p> <p>本時の課題を確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>似ている国同士のモンゴルとキルギスをよく比べて、モンゴルの人大切にしていることを見つけよう。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの場所は5-1教室。 ・体験の時間を多くするためにできるだけ短い時間で導入を行う。 ・一見、似ているように見えるけれども、よく見ると違いがあることを伝える。 ・モンゴルかキルギスの1つしか体験できないことを伝える。 ・モンゴルは1階理科室、キルギスは2階家庭科室にて体験する。 ・それぞれのブースに行った際に「地球の歩き方風メモ」(自作のメモ教材)にメモをするように伝える。 ・モンゴルブースは小野、キルギスブースは 靱山先生(※2023年度教師海外研修参加者)が担当する。 ・写真は撮ってもよい。 ・移動を含めた時間。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「地球の歩き方風メモ」(自作のメモ教材) |
| 展開① (14分) | <p>○前時に分けていたモンゴル体験グループとキルギス体験グループに分かれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モンゴルブースとキルギスブースに行き、それぞれの国を比較する。 <p>※比較体験内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まい、飲み物、衣服、音楽、客のもてなし、肉料理、乳製品(チーズ) | | <ul style="list-style-type: none"> ・現地で買った服、帽子、楽器、ゲルなど ・SATSUKITA パスポート ・中の様子は実物とプロジェクターを併用する。 |
| 展開② (15分) | <ul style="list-style-type: none"> ・児童がそれぞれの体験から帰ってくる。「机をグループの形にしましょう。」 <p>○5つのグループに吹き出し入りホワイトボードを配る。 (自然と感想を伝え合っているのを少しまって)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの活動。グループは4～5人で5つ。必ず2人以上はそれぞれの国を体験し | |

| | | | |
|-------------|--|---|--|
| <p>(5分)</p> | <p>「さてみなさん、今、もう一方の国へ行ってきた人とどうだったか話をしている人もいますが、モンゴルとキルギスの似ているゲルやユルタに入ってきて、わかった情報は全く同じでしたか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違う。 ・似てると思ったけど、全然違う。 <p>「そうなんです。よく見てみたり、説明を聞いたりすると、はっきりと違うところが見えてきます。みなさんは、モンゴルの人は何を大切にしていると思いませんか？」</p> <p>このことを考えるためには、モンゴルとキルギスの違いを比較するといいです。ホワイトボードに書いてある吹き出し（『キルギスと比べてみたら、モンゴルは～を大切にしている』）を用意しました。グループで話し合いながら書いていきましょう。」</p> <p>「例えばゲルやユルタなどの模様では、どんな情報を伝えられましたか？そのような違いからモンゴルの人大切にしていることが見えてくるかもしれません。考えることは、モンゴルとキルギスに行ってきた人たちでお互いに違いを見つけながらモンゴルの人大切にしていることを見つけることです。なので、メモし忘れたことはロイロで送っていますので安心してみてください。」</p> <p>※言葉をうまく表現できないグループへのサポート</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ロイロの資料を見られるようにサポートをする。 2. キーワードカードを配る。 (①知恵②強さ③自然④仲間⑤伝統) 3. 2人の教師がキーワードカードを元にグループごとに直接やり取りをして、思考を促す。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループの代表者が発表する。 <予想される児童の反応> <ul style="list-style-type: none"> ・キルギスと比べてみたら、モンゴルは、知恵をしぼって生きることを大切にしている。「なぜ知恵をしぼって生きることを大切にしていると思いませんか？」 ・なぜなら、キルギスの料理と比べて、野菜や果物が少なく、塩分が必要という説明があった。飲み物もしょっぱかった。生きるため | <p>た人がいるグループ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで「地球の歩き方風メモ」に説明を加えた資料で全員に配布する。児童はそれを見ながら体験したことをお互いに補足説明する。 ・『キルギスと比べてみたら、モンゴルは～を大切にしている』という吹き出しをホワイトボードに作っておく。 <ol style="list-style-type: none"> ①ゲル・ユルタ（移动式住居） ②ボーズ、ホーショール、アーロール・マンティ、クルダック、クルト（食べ物） ③スーテーツアイ・チャイ（飲み物） ④デール・チェプケン（衣服） ⑤馬頭琴・コムズ（楽器） ⑥競馬、弓術、モンゴル相撲・コクボル（スポーツ） <ul style="list-style-type: none"> ・キルギスと比較できていないグループはキルギスではどうだったかを聞いて思考を促す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出し入りホワイトボード（ページ参照） ・ロイロノート ・キーワードカード①～⑤（指導案最終頁参照） |
|-------------|--|---|--|

| | | | |
|---|--|---|--|
| <p>まとめ (2分)</p> <p>まとめ (6分)</p> | <p>にたくさん考えていると思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キルギスと比べてみたら、モンゴルは、馬を大切にしている。 「なぜ馬を大切にしていると思いましたか？」 ・キルギスも馬頭琴と似たような楽器があったけれど、モンゴルでは馬をイメージしている音らしい。また、デールは馬に乗りやすく作られたものと言っていたから。 ・キルギスと比べてみたら、モンゴルは、仏教を大切にしている。 「なぜ仏教を大切にしていると思いましたか？」 ・ゲルの模様はお寺の模様に似ていた。キルギスはイスラム教で人の絵は飾らないが、モンゴルはチンギスハンが飾ってあった。 <p>・グループの形から机を戻す。 まとめ（全体での共有）</p> <p>「モンゴル・キルギスの似ているモノの違いを見てきましたが、全く同じでしたか？似ているけれど違うことを比べて、どう感じましたか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめは、同じに見えたけれど、詳しく見ていくと違いがわかった。 ・違っていて面白いなと思った。 ・違うということはいろいろな生き方がある。 ・どこも同じだとつまらない。違いがあるから面白い。 <p>○振り返り 「今回の体験はどうでしたか？」 「楽しかった、違っただけではなくて、どんな人たちかを知ろうとしていましたね。」 「ロイロノートに、今回の体験やグループでの話し合いを通して、似ている国同士を比べることで考えたこと、見えてきたことを書きましょう。」</p> <p><予想される児童の反応（感想）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は同じように見えていたものも多かったけれども、モンゴルもキルギスも違いがあり、大切にす文化があることがわかった。 ・日本と比べた時は違うところが多かったけれど、キルギスと比べた時は同じところが多かった。でも、よく見ると違うところも多かった。 ・いろいろな国の文化には理由があるので、大切にしようと思った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートは共有して全員が見られるようにしておく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート（提出箱） |
|---|--|---|--|

| | | | |
|------------------------------|---|--|--|
| | ○振り返りの言葉を使って、教師がまとめていく。 | | |
| 7.評価規準に基づく本時の評価（評価方法） | モンゴルとキルギスの体験を通して、似ているところや違うところに着目し、なぜ違いが出てくるのかを考え、モンゴルの人が大切にしていることを見つけることができた。（思判表・振り返りの記述） | | |

【参考資料】

- ・学習指導要領解説総合的な学習の時間編 文部科学省
- ・「地球の歩き方 D14 モンゴル」地球の歩き方編集室 2024 年
- ・「モンゴル仏教紀行」菅沼晃 2004 年
- ・HP 世界の国旗「モンゴル」

<https://www.world-national-flags.com/country/asia/mongolia.html>

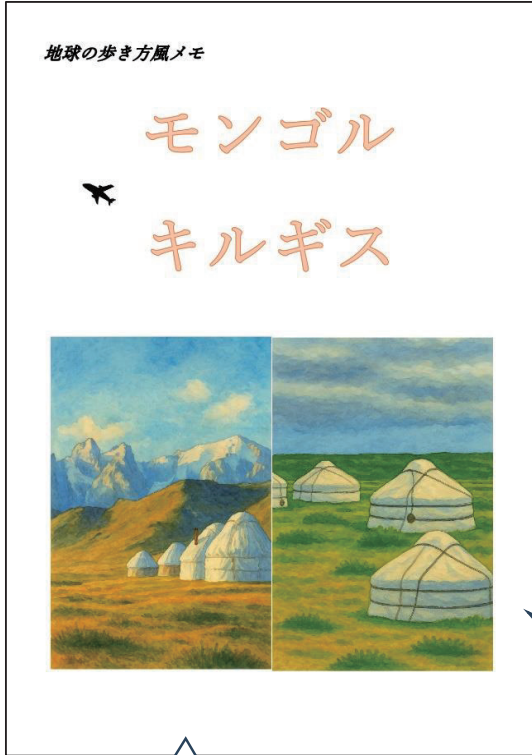
【自己評価】

| | |
|--------|---|
| 苦勞した点 | 本単元では、モンゴルとキルギスという類似性をもちながらも背景が異なる文化を扱ったため、児童が表面的な違い探しに終始せず、文化の違いからモンゴルの人が大切にしていることに導けるよう授業を構成することに苦勞した。モンゴルとキルギスの体験の差によって比較が十分に機能しないということがないように伝えるべき内容の台本を用意したが、その内容を精査することも苦勞した。グループ活動では、扱う情報が多く、45分という時間では子どもの気づきを整理しきれない点もあった。背景を考える発問が十分に生かしきれなかったことも反省点である。 |
| 改善点 | 比較の前提となる体験を全児童が共有できるよう、ブース体験の順序・量を見直す必要がある。また、モンゴルの人が「大切にしていること」やモンゴルとキルギスの「違い」という言葉での発問が中心になってしまったが、「モンゴルらしさ」という視点での発問を中心にするると、子どもたちにとってわかりやすかったかもしれないと感じた。グループ活動をするときには、何を話してよいかわからなくなっているグループがあったので、グループ活動の導入段階で「何を見たか・聞いたか・感じたか」を短時間で共有させ、気づきの確実性を高める必要があると感じた。 |
| 成果が出た点 | 児童が、モンゴル文化の背景にある自然との向き合い方や生きるための知恵に気づいた点は大きな成果である。事前にモンゴル・キルギスの両方を学習していた成果やモンゴルコーナーなどを教室内に作り、興味関心をひくしかけを作っていた成果がでたと感じた。児童の発言は活発で、どのグループも話の方向性が決まると多くのことを考えて話し合っていた。また、体験ブースは、可能な限り本物に近づけたいという気持ちが強かったため、プロジェクターでのゲル（キルギスではユルタ）、本物のミルク |

| | |
|--|--|
| | <p>ティー、実物大の食べ物の写真、伝統的な楽器の音（馬頭琴等）、伝統的な服、などを用意した。五感を意識するように視覚以外にも、味、匂い、音、触った感覚を子どもたちが感じられるように意識した。実物資料・本物の体験は動画や写真以上に児童の認知を揺さぶり、興味関心を喚起する効果が非常に高かった。</p> |
| <p>学びの軌跡 (児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等)</p> | <p>児童のふり返りからは、文化の違いを単なる特徴として並べるのではなく、その背景にある自然・歴史・価値観に気づこうとする姿が見られた。</p> <p><ロイロノートの感想></p> <div data-bbox="602 592 1432 764" style="background-color: #1a3d54; color: white; padding: 5px;"> <p>キルギスとモンゴルを比べてわかったこと キルギスとモンゴルを比べて、モンゴルはどの家にも（ゲル）大体はチングス・ハンが飾られているけど、キルギスは、イスラム教で人や動物は飾らないということがわかりました。 最初はゲルとユルタは同じだと思ったけど色々な違いがあった。</p> </div> <div data-bbox="602 810 1432 971" style="background-color: #f08080; padding: 5px;"> <p>🍎 考えたこと 🍎 最初、キルギスのユルタを見たときには「ゲル！」と答えてしまって、違いなんてないと思っていましたが、ゲルは、卍のマークがあり、ユルタは、違うシンボルマークがついている</p> </div> <div data-bbox="602 1017 1432 1281" style="background-color: #add8e6; padding: 5px;"> <p>見えてきたことは家の中は仏教とイスラム教の模様など違うところが見えてきました。 考えたことは、衣服の模様はお寺の地図記号が関係しているということを考えました。 モンゴルは一人で戦い自分の強さをしめすということがわかりました。</p> </div> |
| <p>授業者による自由記述</p> | <p>今回の授業では、「文化とは、行動や習慣の背後にある見方・考え方である」という視点を児童に実感してほしいと考えていたが、その意図が十分に伝わらなかった部分もある。また、ステップごとに違いを確認する声かけがあると議論が深まったかもしれない可能性もあるが、時間との兼ね合いは難しいと改めて感じた。しかし、児童の反応や議論の深まりから、参加型学習の可能性と、自分自身が目指す授業スタイルの方向性が見えてきた。本物を用いて授業をすることは、用意している時も楽しいし、子どもたちの反応もとてもよくて楽しい。しかし、授業のねらいに沿って、取捨選択をしなければならないことが非常に大変である。今後は、どの授業であっても自分の授業観をより明確に言語化していきたい。</p> |

| | |
|------------|---|
| 次年度以降の取組予定 | <p>次年度以降は、本単元で得た学びを踏まえ、他教科へ広げていく実践を進めたいと考えている。本単元では、文化の「違い」を見つけるだけでなく、「なぜその違いが生まれたのか」という背景を探る発問が学習の質を大きく高めることを実感した。この視点は社会科の歴史・地理、国語科の説明文、外国語科の異文化理解など、多くの教科に応用可能であり、表面的な答えではなく理由を探る学習へとつなげていきたい。また、6年生との接続では、世界の文化や歴史、日本文化の成り立ちを考える学習において、本単元で身につけた「地形・気候・歴史・宗教が文化を形づくる」という見方が有効である。児童が文化を「もの」ではなく「考え方」から捉える姿勢をもつことで、6年生で扱う学習をより深い理解へ導くと考える。</p> <p>他学年への広がりとしては、3・4年生では写真や動画を用いたり、体験的な活動を取り入れた身近な文化の気づき中心の学習、5年生では今回のような背景を探る探究的学習、6年生では多文化・国際理解と結びつけるというように、発達段階に応じて焦点を変え、系統的な文化理解教育を構築したい。さらに、本単元で取り入れたインフォメーションギャップは、対話を活性化し、児童が主体的に違いの理由を考える契機となった。次年度以降も、体験の非対称をあえて設ける方法を、学年に応じて変化させながら活用していきたい。</p> |
|------------|---|

【地球の歩き方風メモ】 ※内容は、想定される記入例



| | |
|---|---|
| モンゴル | キルギス |
| ゲル | ユルタ |
| 「ゲル」は円形で風を分散させる構造。冬はマイナス 30 度にもなる厳しい寒さに対応。中央に炉があり、家族で温まる。仏教の影響で先祖の写真飾る。 | 「ユルタ」も円形だが、内装の様子が豊かで「おもてなし」の文化を反映。イスラム教の影響で人物や動物の写真は飾らない。 |

| | |
|---|---|
| モンゴル | キルギス |
| ボーズ、ホーショール、アーロール | マンティ、クルダク、クルト |
| 遊牧生活を基盤にした文化があり、食も「保存と体力維持」に重点が置かれています。たとえば、蒸し餃子の「ボーズ」や揚げ餃子の「ホーショール」、乾燥チーズの「アーロール」など、長期保存ができてカロリーの高い食品が多い。極寒の草原での生活を支えるために、乳製品や肉を乾燥・塩漬にする知恵が発展した。 | 料理には中央アジアやシルクロード文化の影響が色濃く見られる。たとえば、羊肉と玉ねぎを包んで蒸す「マンティ」や、炒め煮の「クルダク」、乾燥ヨーグルトの「クルト」などがある。ここでも保存食や栄養価の高い料理は重要ですが、野菜の使用や香辛料の工夫などがあり、多民族文化の中で育まれた多様性が料理に表れている。 |

| | |
|--|-----------------------------|
| モンゴル | キルギス |
| スーテーツァイ | チャイ |
| しょっぱいミルクティー。寒冷地で働く人々のために塩分補給が重要。「生きるための飲み物」。来客時に出す「おもてなしの飲み物」でもある。 | 甘くて飲みやすい。来客時に出す「おもてなしの飲み物」。 |

| | |
|------------------------|---|
| モンゴル | キルギス |
| デール | チュブケン |
| 厚くて動きやすく、遊牧や馬に乗る生活に最適。 | 羊毛フェルト製で軽くて暖かい。美しい刺繍と自然モチーフの様子が特徴。実用性よりも「美しさ」や「表現」が重視される。 |

| | |
|--|--|
| モンゴル | キルギス |
| 馬頭琴 | コムズ |
| 馬の頭の形をした楽器。自然や動物との結びつきが強い。「ホーミー」という 1 人で 2 つの音を出す歌い方もある。 | やさしい音色の楽器。人と人とのつながりを大切にする音楽。「テミルコムズ」というムックリに似た楽器もある。 |

| | |
|--|--|
| モンゴル | キルギス |
| モンゴル語・モンゴル文字、キリル文字 | キルギス語・キリル文字 |
| モンゴル文字は縦に書く文字で、世界的に見ると日本語に似ている（縦書きというところ）。キリル文字は 100 年ほど前にロシアの影響で使われるようになった。また、話しているモンゴル語も世界的に見ると日本語や韓国語に近い（語順）。 | モンゴルやロシアと同じくキリル文字を使っている。話している言葉はトルコ語に近い仲間。 |

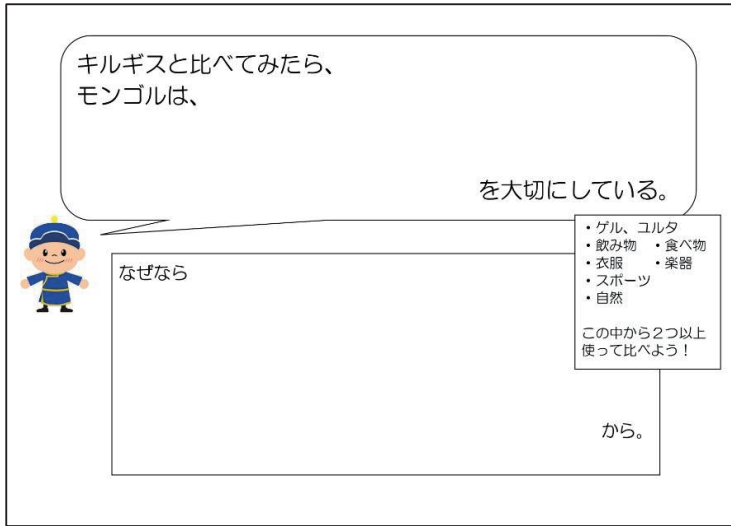
【SATSUKITAパスポート】

モンゴル、キルギスに
入国時に使用



小野
竜大
教諭

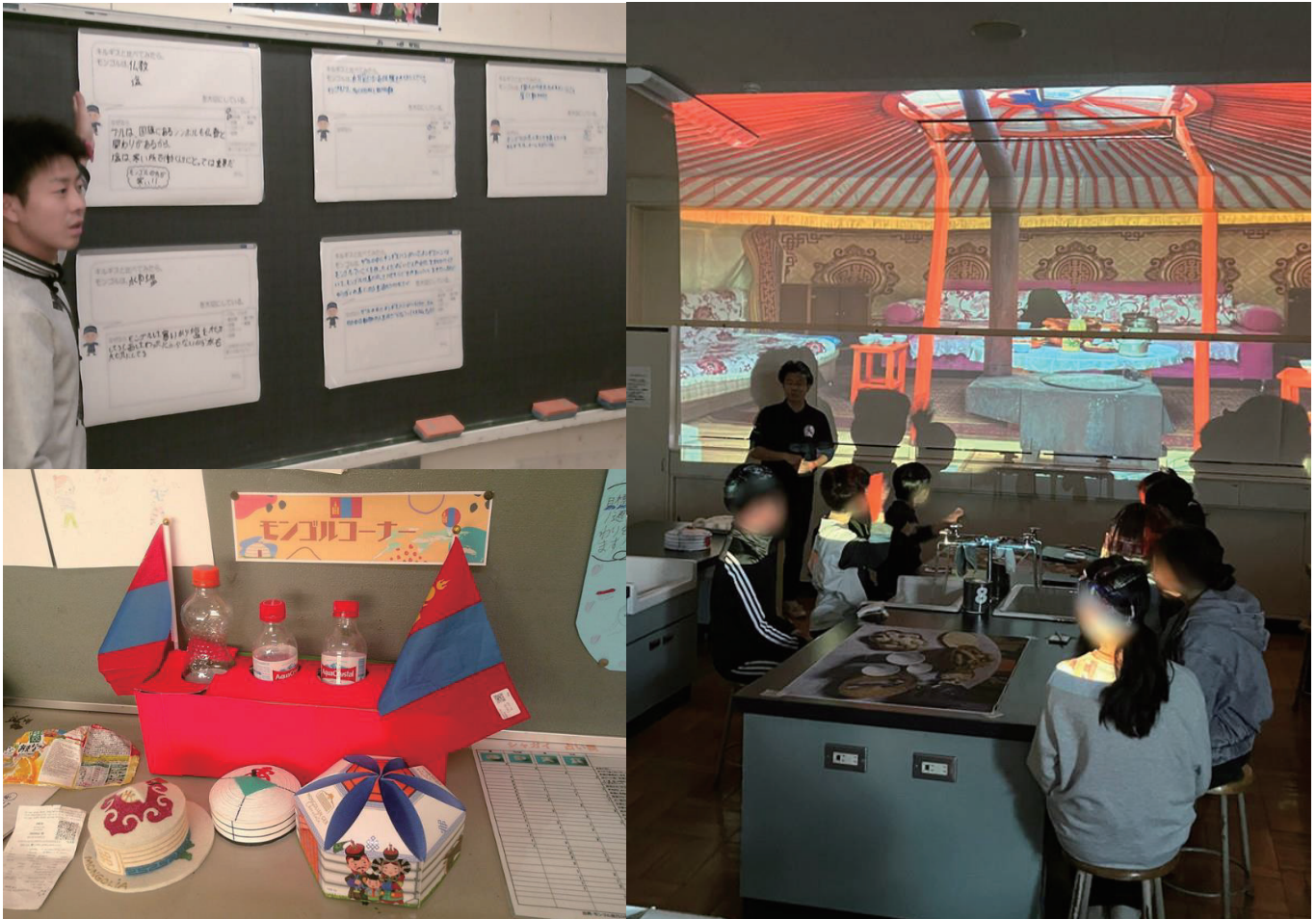
【吹き出し入りホワイトボード】



【キーワードカード】

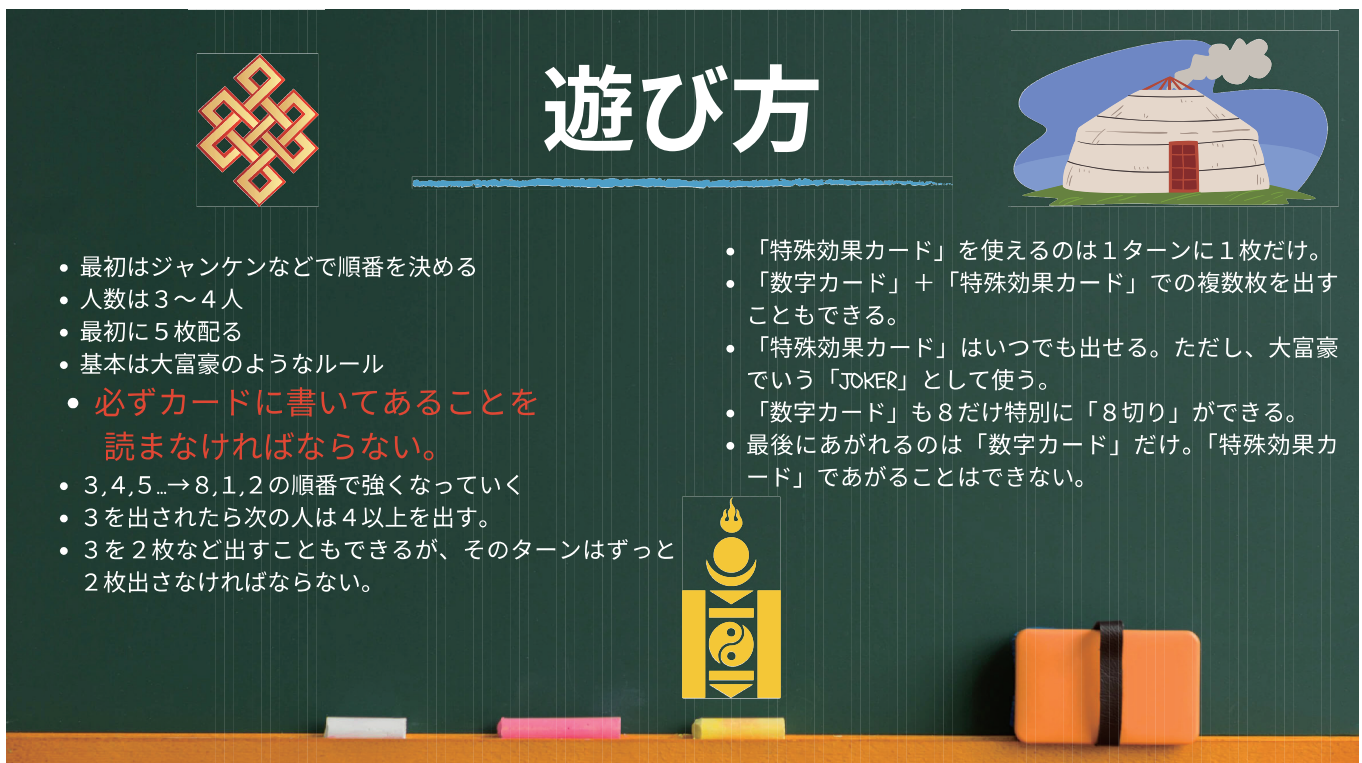


【授業や展示の様子】



[モンゴルカードゲーム] 前時で使用

小野
竜大
教諭



- 最初はジャンケンなどで順番を決める
- 人数は3～4人
- 最初に5枚配る
- 基本は大富豪のようなルール
- **必ずカードに書いてあることを
読まなければならない。**
- 3,4,5...→8,1,2の順番で強くなっていく
- 3を出されたら次の人は4以上を出す。
- 3を2枚など出すこともできるが、そのターンはずっと2枚出さなければならない。

- 「特殊効果カード」を使えるのは1ターンに1枚だけ。
- 「数字カード」+「特殊効果カード」での複数枚を出すこともできる。
- 「特殊効果カード」はいつでも出せる。ただし、大富豪でいう「JOKER」として使う。
- 「数字カード」も8だけ特別に「8切り」ができる。
- 最後にあがれるのは「数字カード」だけ。「特殊効果カード」であがることはできない。

1 景色・建物


ゲル



ゲルとは、モンゴル伝統の移動式の家。どこまでも広がる広い草原のゲル。

2 景色・建物

チンギスハン国際空港



モンゴルの中心の空港。日本の支援で建てられた。

3 景色・建物

ウランバートルの道路



右側通行。よく見るとトヨタがとても多い。

4 景色・建物

ゲルと家



ゲルと家が密集している地域。草原にあるゲル、そしてビルやマンションが密集している地域とは違う雰囲気。

5 景色・建物

劇場



国立ドラマ劇場。伝統的な演奏や踊りを見ることができる。有名な「ホーミー」や「馬頭琴」を聞くこともできる。

6 景色・建物

モンゴル日本病院



日本の支援のもと、建てられた病院。最近では、ただ病気を治すだけではなく病気を予防することにも力を入れている。

7 景色・建物

国立博物館



国立の博物館。JICAも支援している。人類の誕生から現在の民主主義政治にいたるまで、長い歴史を紹介している。

8 景色・建物


大草原



どこまでも続くような広い草原。
効果：大富豪の「8切り」のように、自分のターンとして再スタートする。

1 食べ物・飲み物


アーロール



モンゴルの伝統的な乾燥乳製品で、主にヨーグルトや乳を乾燥させて作るチーズの一種。

2 食べ物・飲み物


スーテーツアイ



モンゴルで飲まれる塩味のミルクティーのこと。茶葉を煮出して牛乳と塩を加えて作られる。お茶といえば「スーテーツアイ」。

3 食べ物・飲み物

YOSHINOYA



モンゴルにもあった日本の牛丼屋さん。牛丼の味は日本と同じ。マトン丼というモンゴル限定の商品があった。

4 食べ物・飲み物

ホルホグ



羊肉や野菜を焼けた石と一緒に鍋に入れて蒸し焼きにする料理。お祭りでふるまわれることが多い。

5 食べ物・飲み物

ウルム



搾りたてのミルクから作るクリームのような濃厚なウルム。揚げドーナツのようなボルツォクにウルムをつけて食べる。

6 食べ物・飲み物


馬乳酒 (アイラグ)



馬の乳を発酵させた飲料。酒というより栄養価の高い飲料として飲まれることが多い。

7 食べ物・飲み物

ホーシヨール



小麦粉で作った生地でひき肉やたたき肉などを包み、油で揚げた料理。

8 食べ物・飲み物

ツオイワン



モンゴル風の焼きうどんで、羊肉と野菜を使用した具材と麺を組み合わせた料理。とても美味しい。
効果：大富豪の「8切り」のように、自分のターンとして再スタートする。

1 歴史・文化
モンゴルの模様

モンゴルでは、太陽や雲を表すときにこのように描く。子どもでもこの描き方らしい。このポスターはモンゴルの高校生が作成した。

2 歴史・文化
チンギス・ハンの銅像

モンゴル帝国を建国した偉大なる人物の巨大な銅像。そもそも立ち入り禁止になっており、政府の場所を守っている。

3 歴史・文化
ボグド・ハン

昔のモンゴル国の最後の皇帝。この後、1924～1992年までは社会主義国となる。

4 歴史・文化
モンゴル文字

たての方向、そして、左から右へ読むめずらしい文字。モンゴルでは社会主義になってからキリル文字を使い、民主主義になってから、またモンゴル文字も使うようになってきた。

5 歴史・文化
スフバートル広場

約100年前、モンゴルが独立したときの英雄「スフバートル」の名前がついている広場。日本では「VIVAN」のロケ地として有名。

6 歴史・文化
ホーミー

モンゴルに伝わる歌い方的一种で、一人の歌手が同時に2つの音を出す特殊な歌い方。低い基音と高い倍音を組み合わせることで、独特な響きを生み出す。

7 歴史・文化
ツァータン族

ムックリのような楽器を演奏している。着ている服もアイヌ民族に非常に似ているが、関連性があるかは不明。

8 歴史・文化
馬頭琴

モンゴルの代表的な民族楽器。先端に馬の頭の彫刻があるのが特徴で、2本の弦を馬の尻尾の毛で作られた弓で弾いて演奏する。
効果：大富豪の「8切り」のように、自分のターンとして再スタートする。

特殊効果カード
モンゴル帝国

歴史上世界最大規模の領土の国。チンギス・ハンが建国した。
効果：次の人をスキップさせる。

特殊効果カード
渋滞

ウランバートルでは、歩いた方が速いくらい渋滞が多い。
効果：全員山札から1枚引く。

特殊効果カード
大渋滞

通勤通学の時間帯や帰宅時には、5kmの道のりで30分～1時間くらいかかることもある。
効果：全員山札から2枚引く。

特殊効果カード
SHEP

JICAが開発した、農家が「作って売る」から「売るために作る」という意識改革の方法。どんな野菜が売れるのかを調査することが大切。
効果：順番を逆にする。

特殊効果カード
野菜ジュース

日本の野菜ジュースがどの店にもある。モンゴルの人は野菜をあまり取っていなかったが、最近は健康に気を使っているらしい。
効果：カードを1枚捨てることことができる。(捨てなくてもよい)

特殊効果カード
恵みの雨

今シーズンは8月に初めて雨が降った。それくらい雨が貴重。
効果：全員カードを1枚捨てることことができる。(捨てなくてもよい)

特殊効果カード
数分に1回、「がたん」となる道路

スピードを出させないための工夫。すごく酔う。
効果：山札から2枚引く。

特殊効果カード
国旗

赤は正義や団結を、青は空やモンゴルの伝統的な色を象徴している。ソヨンボは、モンゴルの古くからのシンボルで、自由や独立を意味する。
効果：山札から好きなカードを見て1枚選ぶ。その後、山札をシャッフルする。

特殊効果カード

井戸水



雨は基本的に降らないので、水は井戸水から確保する。

効果：歴史・文化カード（赤）を全員、全て左隣りの人に渡す。

特殊効果カード

干ばつ



全然雨が降らない。

効果：全員山札から1枚引く。

特殊効果カード

大干ばつ



8月になっても全く雨が降らない。特に農家と酪農家がピンチ。

効果：全員手札を一度捨てて、山札から同じ枚数をもう一度引く。

特殊効果カード

トゥグルグ



モンゴルのお金の単位。日本円で1000トゥグルグでだいたい50円くらい。※この絵はイメージです。本物は先生に見せてもらってください。

効果：景色・建物カード（緑）を全員、全て左隣りの人に渡す。

特殊効果カード

ものすごい種類の牛乳



モンゴルでは遊牧をしており、酪農がさかん。スーパーでは、ものすごい種類の牛乳がある。

効果：カードを1枚捨てることことができる。（捨てなくてもよい）

特殊効果カード

マンガ・アニメ



日本のマンガやアニメの話題でたくさん盛り上げることができる。

効果：全員カードを1枚捨てることことができる。（捨てなくてもよい）

特殊効果カード

シャガイ



4つのシャガイを振って出た目で占うもの。基本的に羊の骨を使う。

効果：左どなりの人とジャンケンをする。勝ったら2枚渡す。負けたら2枚もらう。

特殊効果カード

ちょっと
ふくらんでいるお菓子



モンゴルは高原と言って標高が高い。約1000mくらいあるのでふくらんでいるお菓子もある。

効果：食べ物・飲み物カード（水色）を全員、全て左隣りの人に渡す。

わたしの一枚



言葉の壁をこえた交流

写真を撮った場所：トルゴイト地区地域開発センターのゲルの中

最初は戸惑っていたが、日本式のジャンケンの意味が伝わるとすぐに楽しみ始めた。ジャンケンを理解してくれた後は、ジャンケン列車をして言葉の壁をこえて楽しめた。日本の遊びが新鮮な体験となったことを感じて嬉しかった。また、空き時間には日本の「アルプス一万尺」に似た遊びをしており、言葉や文化が違って子どもたちの遊びには共通点があると実感した。現地にもジャンケンのような遊びがあるが、日本のものとは少し異なり、多様性と共通性を同時に学ぶ機会となった。モンゴルらしさがある「ゲル」の中でこの経験をできたことがとても嬉しかった。

氏名：小野 竜大

学校名：幕別町立札内北小学校